



何が幸福感を与えるのかについて、心理学や脳医学の権威たちが語り、サーファーやコメディアンら多彩な顔ぶれが登場する米ドキュメンタリーだ。

ロコ・ベリッチ監督と清水ハシ栄治プロデューサーらが16カ国を巡った。コルカタのスラム街に住む人力車の運転手は、家族や友人に囲まれ笑顔が自然。

## happy—しあわせを探すあなたへ

事故で顔が変形した米女性は全てを受け入れることで平静に。人とながることで喜びは生まれる。感謝すべきことを誓うは幸福につながる…。当たり前に聞こえるが、実感を込めて語るから胸に響く。12日から全国順次公開。1時間16分。(市)

★★★

2012.5.11 産経新聞

## BOOKS & TRENDS



原題：HAPPY  
監督：ロコ・ベリッチ  
メインプロデューサー：清水ハシ栄治  
製作総指揮：トム・シャドヤック  
上映時間：1時間16分  
配給：ユナイテッドビープル  
渋谷アップリンク  
ほかにて公開中

今週のエンタメ 映画◎『happy—しあわせを探すあなたへ』

## 幸福を考えるドキュメンタリー

たとえ経済的に豊かであっても、幸福と感じない人がいる。一方で、貧しい人が充実した幸福を感じている。幸せとは何か、そしてどうしたら幸せになれるのか——。その疑問を心理学や脳医学の見地からだけでなく、15カ国のロケ取材を通して解き明かしていくドキュメンタリー映画だ。

幸福度を測る研究は、最近注目されてきた分野。ブータンは、GDP(国内総生産)ではなく、GNH(国民総幸福量)を最大化させることを国家の目標としている。

研究の結果、幸福度の決め手は、5割が遺伝で、財産や社会的地位といった生活環境の影響は1割不足という。ただ、残りの4割は意図した行動が左右。つまり、日常の行動で幸福度は変わるというのだ。

映画ではデンマークなど幸福度の高い国々の様子をレポートする一方、日本は幸福度が低い国として紹介されている。長時間労働など、ゆとりのない社会が描かれている。

この映画を日本で見てみると、大自然で、「幸せ」と話す人たちの笑顔が余計にまぶしく見える。